

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.991(35-12)2020年12月6日

超党派の有志議員が
厚労省ヒアリングに続き

11月26日
衆議院第一議員会館

日本航空にヒアリング実施

11月19日に行われた超党派の有志議員による「厚労省のヒアリング」に引き続き、11月26日にはJALからのヒアリングが行われました。当日も委員会等でご多忙な中、有志議員11名（代理出席3名含）が出席しましたが、JALからは社長や役員の出席はなく、人財戦略部マネージャー、客乗担当、事務方の3名が出席しました。冒頭15分間JALが映像で「破綻と再生」の経過を説明し、その後、各議員から10年間争議解決していないことへの率直な質問が出されました。



出席議員

| | |
|-------|------------------------------|
| 立憲民主党 | 福田昭夫議員、矢上雅義議員 真山勇一議員(参議院) |
| 日本共産党 | 穀田恵二議員、山添拓議員(参議院) |
| 自由民主党 | 山本朋広議員 |
| 無所属 | 芳賀道也議員(参議院) |

<議員の代理出席>

| | |
|-------|---------|
| 自由民主党 | 江崎鐵磨秘書 |
| 立憲民主党 | 屋良朝博秘書 |
| 日本共産党 | 高橋千鶴子秘書 |
| 沖縄の風 | 高良鉄美秘書 |

議員から出された主な質問・意見

- ◆争議が長引いているのは何故なのか。
- ◆大晦日の解雇などは特別なやり方だ。特別に行ったものは特別に戻すべきだ。
- ◆解雇の必要性があったか、疑問だ。どう解決するつもりか。
- ◆乗務職にも拘わらず、地上職だけの採用はおかしい。復職させる気持ちがないのか。雇用を大切というなら全員戻せば良い。
- ◆なぜ復職に採用試験が必要なのか。優先的再雇用をすべきではないか。
- ◆解決に向けて合致点があるはずだ。解決は会社にとっても良いことだ。

出席議員は、「JAL争議の解決に向けて、再度ヒアリングを要請していく」ことを確認しました。

